

広報たしる

No. 406

昭和62年 6 月号

田代町企画管財課



人 口 の う ご き

住民基本台帳人口		増		減		前月 対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,947人	2	3 6	3	2 9	6
女	2,147人	1	2 7	2	3 4	△ 8
計	4,094人	3	6 3	5	6 3	△ 2
世帯数	1,444戸					1 0

紫 陽 花

(あじさい)



相談員の久保藤雄さん

苦情や要望は
行政相談員へ

行政管理庁の行政相談委員として、田代町川原鶴園の久保藤雄さんが委嘱されました。行政相談委員は、役所の仕事について

(1)説明に納得できない。
(2)このようにしてほしい。
(3)処理がまちがっている。
(4)どうすればよいのか。
(5)処理が遅い。
(6)不親切な扱いを受けた。

などの苦情や要望を持ってい

るが、どこに相談してよいかわからないといった申し出を受けて、中立、公平な立場から、その解決や実現を図るお手伝いをしています。

たとえば、道路、交通安全、登記、税金、年金、保険、環境衛生、農地、消費者保護、郵便、労働基準、建設基準などで困っている方は、お気軽にご相談下さい。



グランドチャンピオン牛

四月二十七日、川原グランドで春季畜産共進会が開かれ七十二頭が出陳しました。

畜産共進会は、田代牛の銘柄を作るため、年に春と秋の二回行われていますが、体型資質について畜産農家や関係者が集まる中で、審査員による審査が行われました。

審査の結果、各部門ごとにりっぱな牛が選ばれました。審査員の講評では「出品された牛は最近になく揃っており発育体積共にりっぱな牛が多く優秀の差がなかった。しかしながら今一歩手入れや運動の足りないものがみうけられましたので、育成期間中は草や乾草を充分与えりっぱな牛に仕上げるのが大切であるので秋の共進会に備えていただきたい」等のことがあげられました。

春季郡畜産共進会出品牛

一部 原沢 幸 原沢 幸
二部 原沢 幸 原沢 幸
三部 まつきみ 3 宮園敏和 中村 久保 豊 鶴園 久保 豊 鶴園
四部 まつきみ 2 宮園敏和 中村 久保 豊 鶴園

春季畜産共進会

七十二頭が出陳

グランド
チャンピオン賞
田代町長賞
なんぐう農協長賞

ふじざくら 2 宮園敏和
まつきみ 3 宮園敏和
あけみ 3 原沢 幸

たけひら 宮園虎男 中村
父系群
ふじざくら 3 宮園虎男 中村
まつきみ 71 辺志切保美 辺志切
ゆうすけ 岩下芳文 山下
ふじみ 3 2 水流五三 鶴園
育種高等群
みちこ 4 9 上吹越清香 表木
みちこ 9 2 上吹越清香 表木
みちこ 9 4 瀬口末吉 柴立
春季畜産共進会部門別成績
一部 (順不同)
のりはな 51 鶴園 満 鶴園
すえひめ 11 2 近川幸一 辺志切
ふじざくら 3 宮園マチ子 中村
むつこ 1 宮園マチ子 中村
まつきみ 71 辺志切保美 辺志切
あけみ 原沢 幸 原沢 幸
おしん 川路己俊 猪鹿倉
つばき 5 5 川路己俊 猪鹿倉
ゆうすけ 岩下芳文 山下
きくみつ 上吹越充 下
はるえ 中村仁次郎 内之牧
二部
きくはな 宮園清造 中村
ふじみ 3 2 水流五三 鶴園
みえこ 5 唐仁原ミエ子 表木
たかこ 貫見広幸 池野
まつきみ 3 宮園敏和 中村
いりぶね 1 平原富三 鳥淵
みゆき 1 宮園清造 中村
わかよし 柳田正則 鶴園
ひかり 山田藤富 盤山

肝属春季畜産共進会

1 田代町準優勝

五月八日、根占家畜市場で肝属春季畜産共進会が開かれ本町からも十二頭が出陳しました。

個人の部では、育種高等群の部で組出品(上吹越清香さん二頭、瀬口末吉さん一頭)父系群の部で組出品(宮園虎男さん、辺志切保美さん、岩下芳文さん、水流五三さん)で各々三席に入賞しました。また、団体の部では、根占町にわずか、一・七点の差で準優勝という結果になりました。

秋季は、優勝できますよう飼育管理に努力して下さい。

議会の構成決まる

先ほど実施された町議会議員選挙後にはじめての臨時議会が五月八日に招集され、正副議長、選挙、常任委員会の構成、一部事務組合議会議員の選挙等を行いました。

新しい構成は次のとおりです。

〈正副議長〉
議長 宮原 貢
副議長 中原 操

〈常任委員会〉
総務民生常任委員会
委員長 浜田 孝郎
副委員長 山元 須直
委員 安楽 学
岩崎 美義
舞原 一己
貫見 徹郎
宮原 貢

経済建設常任委員会
委員長 荒木 房雄
副委員長 尾ノ後幸一郎
委員 前之園良輝
瀬口 勝
有馬 功
右田 始
中原 操



〈一部事務組合〉
大根田衛生管理組合議会議員
舞原 一己
有馬 功

南大隅衛生管理組合議会議員
右田 始
貫見 徹郎

大隅肝属地区消防組合議会議員
宮原 貢

大隅中部火葬場組合議会議員
瀬口 勝

大隅広域伝染病棟組合議会議員
山元 須直

右田 始 (六十四歳)
大正十二年二月十六日生
町議七期、商業、東中部

荒木房雄 (五十五歳)
昭和七年二月十日生
町議三期、商業、東中部

舞原一己 (五十七歳)
昭和四年九月二十三日生
町議五期、農業、鶴園

有馬 功 (五十九歳)
昭和二年十月二十日生
町議四期、農業、盤山

浜田孝郎 (五十一歳)
昭和十年十一月二十六日生
町議三期、農業、池野

宮原 貢 (五十六歳)
昭和五年七月二日生
町議四期、農業、山ノ口

山元順直 (五十三歳)
昭和八年十月十七日生
町議五期、農業、西大原

岩崎美義 (六十九歳)
大正七年三月二十日生
町議三期、商業、岩崎

貫見徹郎 (六十歳)
大正十五年十月二日生
町議七期、団体職員、池野

以上十四人の方々が、町民の皆様の代表として、田代町をしっかりと見守り、町の発展のために、大いに頑張っていると思います。

新議員紹介

電話級アマチュア無線技士講習会(国試免除)受講生募集

1. 期 間 昭和62年6月15日~昭和62年6月26日
(土・日を除く)

2. 場 所 根占町民センター会議室

3. 申込受付・問い合わせ先
麓住宅 大寺まで TEL 5-2267



税だより

◆社会にいきる税

国や地方公共団体は、私たち国民が豊かで安定した暮らしができるように、幅広い活動を行っています。

税金は、国や地方公共団体がこのような活動をするための大切な財源ですから、私たちが生活の向上と安定を願う限り、どうしても負担しなければならぬ社会共通の会費であるといえます。

そのため、私たちは、単に義務として税金を納めるだけでなく、税金の使いみちも十分に知る必要があります。

国の活動を表す昭和六十一年度の一般会計予算は五十四兆八百八十六億円ですが、このうち約七十五パーセントに当たる四十兆五千六百億円が税金で賄われています。



◆領収書や契約書と印紙税

私たちは、毎日の生活の中で、いろいろな文書を作成し

国民年金保険料納付は 被保険者ごとに変わります。

◆ 毎月納めて安心 ◆
保険料は、定められた納付月ごとに、きちんと納めることが大切です。つい忘れてしまいますと思わぬ金額になって納めづらくなります。

必ず加入する人

第3号被保険者	第2号被保険者	第1号被保険者
 扶養の20歳未満の者 サラリーマン 養子60歳未満者	 サラリーマン	 満60歳以上の者 60歳未満の者 20歳未満の者 自営、業、職、議員、国、会、議、族、方

① 農業・商業などの自営業者の「第一号被保険者」は、今までどおり市町村役場に保険料を納めなければなりません。

② 厚生年金や共済組合に加入している「第二号被保険者」は、国民年金の保険料を納める必要はありません。

③ 厚生年金や共済組合に加入している方に扶養されている「第三号被保険者」は、国民年金の保険料を納める必要はありませんが、加入の届出が必要です。



六月は児童手当現況届の月！

児童手当または特例給付の支給を受けている方、六月は「現況届」を提出する月です。これは、受給者の方が前年の所得・養育の状況などの必要事項を、現在住んでいる市区町村役場に提出していただく手続です。

この届け出は、引き続き児童手当が受けられるかどうかを決める大切なものとなります。

受給の資格があっても、六月一日から三十日までの間に「現況届」を提出し、手続きを済ませていただかないと、六月分からの手当は受けられなくなる場合がありますのでご注意ください。

尚、六月は現況届の提出をしていただく関係上児童手当を現金で支給しますので必ず指定日、指定場所に御来場下さいますようよろしくお願い致します。

又、今年の一月一日以後に現在の市区町村に引っ越してきた人、または「現況届」の他に以前に住んでいた市区町村の「六十一年中の所得証明書」が必要です。



◇ 改正された児童手当制度 ◇
二番目の子供も対象に

児童手当制度は、昭和六十一年六月一日で大幅改正され、今までの三人以上子供を養育している者から二人以上子供を養育している者と支給範囲が広がりました。

同時に、三年間で対象年齢が段階的に変わることになっています。今年はその二年目にあたり次の子供を養育している人が手当の対象となります。

二番目の子に昭和五十八年四月二日以降に生まれた子、三番目の子に昭和五十八年四月二日以降に生まれた子、もし、あなたの子供が児童手当の対象で、届け出がまだなかったり、わからないことがありましたら役場民生課福祉係までお問い合わせ下さい。

児童手当の支給日程は下記のとおりです。

年 月 日	時 間	場 所	対 象	集 落
昭和62年6月6日 土曜日	午前9時30分～10時20分 午後10時30分～11時10分	老人福祉センター 表木公民館	表木地区 表木地区	小野、折山、木崎、鹿野、折山、表木、折山、表木、折山
昭和62年6月8日 月曜日	午後1時20分～1時50分 午後2時15分～2時45分 午後3時～3時50分	西大原公民館 池野公民館 上柴立公民館	大原地区 池野地区 池野地区	鳥淵、池野、池野、池野、池野、池野、池野、池野、池野、池野

たり、もったりしています。これらの文書の中には、領収書や借用証書、売買契約書などのように、印紙税がかかるものがあります。

文書を作成する際には、印紙税がかかるかどうか、税額はいくらかなど確認して、間違いないようによく注意しましょう。

◆税の相談は税務相談室へ

「住宅取得特別控除を受けるにはどうすればよいのか。」とか、「医療費控除を受けたのだから、税金はどのくらい減るのか。」など、税に関するお悩みがいろいろあります。

こんなとき、気軽に相談できる窓口を紹介しましょう。国税局や各県の主要都市にある税務署には、税務相談の窓口として「税務相談室」が設けられています。

税務相談室では、税についての知識や経験の豊富な税務相談官が「正しい税知識で適正な納税を」をモットーに、納税者の皆さんの税に関する相談に対して納得のいくまで親身になって相談に応じています。相談は無料です。また、



◆税に関する作文募集

国税局、税務署では今年も、中学生や高校生の皆さんから税に関する作文を募集します。テーマは、税について日ごろ考えていることや学校などで学んだこと、日常生活の中で見聞したことなど、税に関することであれば何でも結構です。

字数は、高校生が三千字以内、中学生が千六百字以内で締切りは、高校生が九月五日（土）、中学生が九月十九日（土）となっています。なお、

作文の提出は最寄りの税務署へお願いします。

中学生、高校生の皆さん、奮って応募してください。税に関する作文の応募について詳しいことは、国税局総務課や鹿屋税務署の総務課にお気軽にお尋ねください。

電話 0994-421-3127
0994-421-3669

○ 町PTA連絡協議会並びに校外生活指導連絡会
会長 山崎 岩男
副会長 入佐 郁
書記 平原 年一

○ 文化協会
会長 南園 忠男
副会長 岩崎 美義
書記 山下 イツ子

○ 体育協会
会長 中原 操
副会長 池田 一雄
書記 木佐 賢新
会計 荒木 義文
小園 一利

○ 婦人連絡協議会
会長 鉦 ナル子
副会長 野田 マサ
会計 田代 米里子

○ 老人クラブ連合会
会長 鶴園 末吉
副会長 岩崎 美義
書記 舞原 ミエ

○ 高校生父母連絡協議会
会長 瀬ノ口 五男
副会長 栗脇 孝
書記 竹之内 哲哉
小園 一利

○ 連合青年団
団 長 川路 洋志
副団 長 荒木 義文
事務局長 山元 利美
書記 小梅 枝良子
会計 河野 ゆかり

村づくり一品運動

「管理作業」

柿

一、土壌管理

梅雨にはいると傾斜地では、敷わら、敷草で表土流失防止につとめ、平地では水はけをよくするため集排水溝の整備につとめます。

二、病害虫防除

梅雨にはいると病害虫が発生しやすい環境になります。防除にあたつては時期を失しないよう注意して下さい。

炭そ病及びヘタムシ、スリップス類防除のため六月上旬ダイファ水和剤五百倍加用、スリップス防除剤を加用する。スリップス防除剤は、パダン水和剤千倍、又はスブライド水和剤千倍です。

桑園の近くでは、パダン水和剤は使用しない。

うどんこ病の多発予想園では、バイレトン水和剤五百倍が効果的です。

六月(中)下旬は、炭そ病ヘタムシ、コナカイガラ等防除のためラピライト水和剤五百倍加用サリチオン水和剤千倍を散布します。

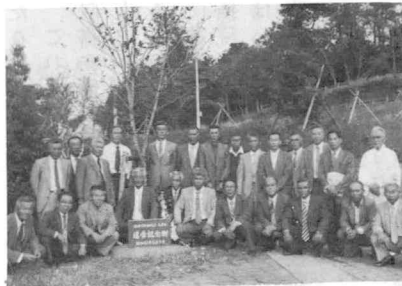
昭和九年入学田代小同窓会

— 十九年ぶりの再会 —

五月九日、花瀬公園で還暦を記念して田代町川原の舞原伝さんを代表者とした昭和九年入学田代小同窓生が町内在住者十八人、町外在住者七人の合計二十五人が参加して実施され、花瀬公園のキャンプ場近くに桜の木の植樹を行いました。

記念植樹終了後花瀬川苑へ席を移し「赤いちゃんちゃんこ」を着て懇親会を行いました。四十三年の厄払い以来十九年ぶりの再会ということもあって昔話に花が咲きました。

特に、なかには四十七年ぶりに旧友との再会という人もおり、なつかしさもひとしおのようでした。



花瀬地区むらづくりソフトボール大会

— 池野集落念願の初優勝 —

第十三回花瀬地区むらづくりソフトボール大会が五月十日、若葉が川面に映える花瀬大橋下のグラウンドに於いて開催されました。

原沢、池野、瀬戸口、鳥淵、猪鹿倉の五集落より七チームが参加し、地区民は勿論、町長、助役、経済課長、農村振興運動担当者、教育委員会の社会教育主事等も出席する中、午前八時三〇分開会式にひき続きブレイボールとなりました。

珍ブレイ、好ブレイが続出し午後三時まで熱戦が展開されました。

故猪鹿倉義則氏の助役時代昭和四十九年に始まり回を重ねて今回で第十三回となりました。五集落の中で池野集落だけが優勝トロフィーを手にしておりませんでした。熱戦がつづくうちに、念願の初優勝を第十三回にして池野Aチームが成し遂げ、池野の集落民の喜びは言うに及ばず地区民全員が自分のことのように喜び、心から祝福しました。チームあたり五千円の会費



で試合終了と同時にグラウンドに於いて懇親会が催され、試合よりも池野集落の初優勝ということもあって「飲ん方」に熱がこもっていたようでした。

去る四月六日の花瀬公園祭の駅伝に於いても花瀬Aチームが三位、Bチームが六位、区間賞が三名と健闘し飲ん方と並び体育部が地区の要となっており、先ずは池野集落の初優勝おめでとうございます。

水道がしあわせ

広げた一世紀

六月一日から七日は水道週間です。

健康を守り、生活を豊かにしてくむ水道は一日も休むことなく活動を続けています。

この衛生的に安全な水を豊富に送り出す水道を考え、理解と関心を高め、水道の健全な発展をはかるための週間で、今年は二十九回目です。

水を大切にしよう!!

日本に初めて近代的水道がつくられたのは横浜市です。明治二十年(一八八七年)のことです。それから数えて今年はずうと百年目になります。それを記念して十月には「記念切手」が発行されますし、各地で百年を記念する行事が行われます。

この機会に水道の大切さをみんなで考えてみたいと思います。

念
道
記
念
水
を
シ
ン
ク
近
代
百
年
の
マ
ル

むし歯も病気と考える

いますか!

六月四日からむし歯予防週間です。

「むし歯」と聞いてもむし歯になるのはあたりまえという考えはないでしょうか。

しかし、むし歯もりっぱな病気です。

病気と言え基本的な対策を早期発見、早期治療としますが、むし歯の場合も、できてしまったむし歯は早く治した方がよいにきまっています。が、どんなむし歯をつくる状態をそのままにしておいて早く見つけて早く治すというだけでは、根本的な解決にはなりません。しかし、むし歯予防はたいいていの人がよくわかっていていますが、なかなか難しいものかと思っっているに違いありません。

それは、むし歯の原因が多因性であるのですが、むし歯予防を素直に、「むし歯をつくらない事」つまり子供が治療に耐えられる五、六歳頃にボツンとできたと言う位にして欲しいのです。

その為には、少くとも三歳位迄は、一本もむし歯をつくらない様にしなければなりません。

つまり子供が生まれた時からむし歯をつくらない育児と言う事になります。むし歯予防の為の特別な育て方があるのではなく、極自然に、成長に合った好ましい食べ物を食べばよい。正解はこの事に尽きるのです。

特に食生活に気を配れば、むし歯を予防する事は可能だという事です。しかし、現在の食生活は豊かで昔より甘く、おいしい物を食べたいと言う欲望に根ざしているだけに、むし歯の場合、強く影響している物が「砂糖」とわかっていても改められずにいるのではないのでしょうか。

現代の生活では、砂糖と全く無縁になるわけにはいかないので、食べる量と時間を一定の限度内にとどめましょう。又原因は砂糖ばかりではないので、歯をみがく予防対策が重要な意味をもちます。

なかには歯をみがいてもむし歯はできるという人がいますが、みがけていないのにみがいたつもりになっているからです。とにかくむし歯予防には、歯みがきと砂糖の食べ方二つの習慣をよい形でつけないと成功はおぼつかないと言えます。



戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



「篤志寄附金」

田代町社会福祉協議会

さきに、御逝去されました御遺族より、香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の御寄附を賜りました。厚くお礼を申し上げると共に御冥福をお祈り致します。

原口 登 様
新村 シズエ 様
小牧 フミ 様

サマージャンボ宝くじ

七月中旬からサマージャンボ宝くじ(市町村振興宝くじ)の予約申込みが開始されます。この宝くじの収益金は、市町村の振興事業に使われます。本町でも、昭和五十九年度、この宝くじ資金から四百十萬円の融資を受けて、県単農道舗装(猪鹿倉地区)を行ないました。

なお、申込方法等詳しいことは、七月十五日(水)の新聞紙上で発表されます。

教育だより

交通安全教会「開かれる

田代小学校



(右、左ちゃんと確かめて)

去る四月二十三日(木)、五、六校時、全校あけて交通安全教室に取り組みました。当日は、鹿兒島県警本部より三名(うち婦人警官二人)の方が「ひまわり号」で駆けつけてくださり、更に大根占警察署より、交通課長さん、部長さんのお二人、それに、田代駐在所の方お二人も加わっていただき、計七名の警察の方々の御指導を受けて、とても有意義な交通安全を開くことができました。

初めに、県警本部の方のお話を聞き、続いて婦人警察官による『ぜんちゃん』を通しての腹話術の対話の中、交通ルールの大事さをわかりやすく教えていただきました。『ぜんちゃん』に魅せられ、子供達の目は、耳は、真剣そのものでした。



(横断歩道、手を挙げて)

のでした。次に校庭に出て、横断歩道を設けて、各学年ごと正しい横断の仕方を練習し、続いて、「ひろくま店」前交差点にて実地の道路横断歩行訓練をしました。

警察の七名の方がそれぞれの場所で見守り指導してくださいました。職員も全員、必死で實際指導に取り組みました。子供達も一生懸命でした。最後に、校庭で車での模擬事故実験を見ました。きかん坊の人形「太郎君」が急に飛び出してしまい、車にひかれ即死する場面を目前にして、子供達の緊張感も高まった様子でした。

事実、実験提供を求められた子供達の尻込みの様子が印象的でした。いかに、とび出しなどが、交通ルールを守らないことがこわいことをわかることができました。

卒業生からの便り

大原中学校



(大原中学校時の坂口さん)

当日は、天気にも恵まれ有意義に終了しました。県警からのわざわざのご指導などめったにないことで、ほんとうに有難いことでした。心から感謝申し上げます。

各家庭での交通安全のしつけは如何でしょうか。一刻たりともゆるがせにできないのが交通安全です。子供達の自転車乗りの様子、どうなのでしょう。今一度、各家庭で自分の子供の交通安全を振り返ってみてください。一つしかない命を守るための大事さをもっと徹底させていかなければなりません。

日が過ぎました。家に電話をしても、必ず「自分が選んだ道なのだから、頑張らんと」と言われるばかりでした。

たしかに自分が選んだ道です。嫌でも、今ここでつまずいたら、後には何も残らないと思います。今頑張っておれば、後で何か、きっと良いことが待っていると思っています。

生まれて初めての寮生活も規則はたしかに厳しいですが思っていたより楽しいです。普通科ですので、朝と帰りの学級の時間は、いつもテストです。一問でも間違うと放課後、居残りになりますので皆、一生懸命です。それが、国語、英語、数学ですので、もう、大変です。休み時間はいつもテストの勉強をしています。

練習には、けがはつきものという感じの練習ですが、つまずかないように三年間頑張ります。

先生方も頑張ってください。それでは、またお便りします。

紙面の都合で、少し省略してありますが、原文に近いものです。

簡潔な文章で、学校での生活が、浮んできます。

曾於・肝属地区

体育指導委員研修会



(発表する近川良子さん)

さる五月二十日、鹿屋市体育館で曾於・肝属地区体育指導委員研修会が開かれ、本町の近川良子委員が「スポーツの生活化」と題して事例発表しました。たいへん好評をいただきました。

新任の先生方紹介 (その2)

「伝統を土台に」

大原小学校長 木佐貫新美



稲尾岳・荒西岳の雄大な自然に囲まれ、谷間は清流、里には小鳥のさえずり、路傍には数種類の花、なんと大隅半島の軽井沢と言っても過言ではなからう。

校区内には、至る所に歴史を物語るものが豊富にある。それは大先輩が築き上げた苦労と共に、特に、学校教育・家庭教育・社会教育も伝統が累積されている。これを土台に、二十一世紀にむけて充実したものにすることが教育の活性化と考える。

これを実現するためには、指導する者・教育を受ける者両者が共に教育活動を企画し実践していくことだと思っている。そして、次代に生きる児童が心身共に健やかで、たくましく生きていくための知識・技能・態度を身につけてやることだと考え、職員父母、地域の方々と一つ一つの課題解決に努力したいと思っています。

「田代中に赴任して」

田代中教諭 渡辺 節雄



発表で、田代中学校といわれ、通勤距離と時間が大幅に長くなりそうだと感じた。居を鹿屋に構えていると田代は遠い所でした。数年前花瀬公園に花見に来たとき川がきれいなことと、桜と藤が大変美しかったことが今でも強く印象に残っています。

朝夕走る中央線(池田スカイライン?)のすばらしい展望は又格別です。大隅半島にこんな立派な高速道路があったことに時代の推移を感じました。現在まだ工事中ですが一日も早く完成し過疎の大隅から脱却したいものだと思ふ次第です。

二週間経過自然に囲まれた盆地田代中にどうやら馴れてきました。新しい文化を学ぶために子供達と共に明日への夢を持ちながら過したいと思ふ。

田代中教諭 窪田 浩蔵



鶴の渡来地出水市の米ノ津中学校から、赴任して参りました。

田代町に来て感じていることは、緑の木々や色とりどりの花々が美しく、また、心優しく人情味豊かなすばらしい町だということです。

田代中学校は緑化に徹し、落ち着いた雰囲気の良い環境にあり、その中で育つ生徒達は、挨拶がよく、素直で、お互い仲睦まじく感じられました。これから、この田代中学校で生徒たちと一緒に勉強やスポーツができることをとても嬉しく思っています。

田代中学校の生徒たちが、心身ともに、さらに大きく成長していくように、生徒達のために、微力ながら、一生懸命に頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願ひ致します。

田代中学校の生徒たちが、心身ともに、さらに大きく成長していくように、生徒達のために、微力ながら、一生懸命に頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願ひ致します。

「心を大切に」

田代中教諭 加藤 弥生



校庭の木々の緑が非常にまぶしく、色とりどりの花が満開な日に田代中学校に赴任しました。まるで田代の人々の人柄を知らせてくれるような穏やかな日で、とてもほのぼのとした気持ちになりました。

早速、子ども達の挨拶の良さに驚き、返事を交わすのに疲れるくらいでした。人間としての基本である挨拶がしっかりできることは、とてもすばらしいことです。

音楽を担当していますが、元氣な歌声にうれしき限りです。歌声は心を表現してくれます。色々な歌と一緒に歌います。色んな心を一緒に歌い子ども達の心をイキイキと動かしていくのが私の目標です。田代中の丘から歌声を響かせその余韻を学習欲に導いていきたいものです。

まだまだ未熟者で、実践力が伴わない私ですが、「心を大切に」をモットーに、田代の教育に全力をそそぎたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

「よろしくお願ひします」

田代中教諭 岩川 剛



私は、本年度の新規採用で田代中に赴任して来ました。

生れは、南海の洋上アルプスで知られる屋久島です。小・中・高校と地元小学校を卒業後、大阪体育大学で学び、再び屋久島へ帰り、小学校での非常勤講師を一年しました。

故郷屋久島を離れ、何も知らない土地へ。一人で飛び込んでいくのは、不安でいっぱいでした。しかし、この田代町の皆様の、心優しき、自然のすばらしさに、いつの間にか解け込んでいる自分自身です。

その環境の中で、育ってきた子供達の仲間に入り、生活していけることを、本当にうれしく思っているところです。教員として、新一年生の私ですが、子供達と、共に学び、スポーツに、仕事に汗を流したいと思っています。

未熟な私ですが、少しでも期待に答えられる様に一生懸命がんばっていききたいと思っています。

新任の先生方(つづき)

田代中教諭 内山 曉美



今回新採で養
教として赴任し
ました。辞令を
頂き学校や生徒

の事、様々な不安を抱いてい
ましたが、田代を訪れてみる
と、町が緑に包まれ、桜が満
開でつつじなどの花が咲きは
こり緊張していた心が自然と
和らぎました。その上「おは
ようございます」と元気な大
きな声で頬を赤くした生徒が
あいさつをしてくれ、不安も
ふき飛んでしまいました。

新学期が始まり、自分が学
校にとけこむことや保健的行
事に追われるなど試行錯誤の
日々を送っています。そんな
中、休み時間生徒達が元気な
顔を見せてくれます。以前、
ある先生から「養教は全校生
徒の母親だよ」と言われたこ
とがあります。今、その言葉
を思い出し養教の仕事の深さ
と責任の重さを感じています
が、この屈託のない明るい生
徒の健康の保持・増進と安全
のため焦らずに一步一步私な
りにがんばっていききたいと思
います。未熟者で、いろいろ

御迷惑をおかけすると思いま
すが、御指導のほどよろしく
お願いいたします。

社会教育主事 山下 元



天然記念物に
指定されている

稲尾岳、名勝地
花瀬の畳床、お
茶、たばこ、と数々のお国自
慢の多い町。活力に満ちた緑
と心の豊かな田代町で居を構
えることになりました。家族
一同、慣れない新しい土地で
の生活に不安も少しあります。
失敗や、失礼も数多いと思ひ
ますがよろしくお願いいたし
ます。

「青少年ふるさとセミナー
に参加して」

五月十七日に「青少年ふる
さとセミナー」が開催され、
本町からも二十名の中、高・
青年が参加してくれました。



大原中 木尾 和則

僕たちは、五月十七日「青
少年ふるさとセミナー」に参
加しました。もちろん、初め
てのことでした。

講演の中で、「ボランティア
活動を通じて、いろいろな
人と知り合った」「活動をし
た後、老人ホームのおじい
ちゃん、おばあちゃん喜びの
あまり、涙を流して下さった」
という内容の作文を読まれた
時は、感激しました。

いよいよ「大隅の園」での
ボランティア体験活動です。
行進やダンス、みんながみん
なとても楽しそうでした。園
生のみなさんは、自分の不自
由がありながらも、それにめ
げずに一生懸命ががんばって
いました。

家に帰りついてから思いま
した。本当に僕は、幸せだ、
そして、いい体験をしてきた
と。(感想文の抜粋です)

南大隅高校 福岡 千鳥

「ボランティア活動」とい
う言葉を耳にした事はありません
が、実際に参加した事はあ
りませんでした。私は、青少
年ふるさとセミナーに参加し
て、一番印象に残ったのが、
この「ボランティア活動」だ

ったのです。



私達は、「大隅の園」へ行
く事になりました。園内に入
ると、園生が待ち構えている
様で、私達の三倍くらいの大
きな声であいさつされ、感激
しました。精神薄弱者、言語
障害などなど園生はさまざま
でした。音楽がかかると、自
分なりに精一杯踊っていて、
その時の目の輝きは忘れられ
ません。かえって、五体満足
の私達よりうまかったかもし
れません。

何一つ不自由なく、手、足
など動かせる私達は、とても
幸せすぎるのではないだろう
か———と思います。

ボランティアも終わりに近
づき、園生と握手をしました。
どの園生も力強く握りしめ、
「又、運動会に来てな！」と
言われました。言葉をしゃべ
れない園生は、頭を深くさげ

てくれました。本当に、いろ
んな事を新鮮に感じました。
五体満足な人は、障害のある
人々にやさしい手を差しのべ
るべきだと思います。

私は青少年ふるさとセミナ
ーに参加して、とても貴重な
体験をしたと思います。心か
ら園生に「ありがとう」と言
いたい気持ちです。園生に限
らず、いろんな障害をもった
人々に「強く・明るく」生き
てほしいと思います。

(感想文の抜粋です)

「訂正」

五月の標準小作料の改訂に
ついての記事中、畑の部では
「場整備地区については、「二
万円」を加算して下さいとな
っておりますが「二千元」
の誤りでしたので訂正してお
詫言申し上げます。

小組合、婦人会、新役員決
まるの記事中、田代町小組合
長連絡協議会役員の副会長が
「新村進」さんとなっております
が「新村進」さんとなっており
ましたが「楠元忠雄」さんの
誤りでしたので訂正してお詫
言申し上げます。